

第1学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸科第二部

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	田島 花野	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	中国語	<b>曜日・時間</b>	月曜日 17:40～

### 【授業概要・目標】

中国語の普通話を学ぶ。ピンイン(発音記号)・簡体字などを習得し、文法を理解した上で、簡単な会話文を話せるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス(中国語とは何か)
2	第一課(前半)
3	第一課(後半)
4	第二課(前半)
5	第二課(後半)
6	第三課(前半)
7	第三課(後半)
8	第四課(前半)
9	第四課(後半)
10	発音のチェック、本文編ガイダンス
11	第五課(本文、ポイント)
12	第五課(ポイント、練習)
13	第六課(本文、ポイント)
14	第六課(ポイント、練習)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	第七課(本文、ポイント)
3	第七課(ポイント、練習)
4	第七課(会話練習)
5	第八課(本文、ポイント)
6	第八課(ポイント、練習)
7	第八課(会話練習)
8	第九課(本文、ポイント)
9	第九課(ポイント、練習)
10	第九課(会話練習)
11	第十課(本文、ポイント)
12	第十課(ポイント、練習)
13	第十課(会話練習)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	期末試験 授業中の発表・課題提出
<b>授業の進め方</b>	テキストを中心に進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	発音練習など、積極的に授業に参加すること。
<b>テキスト・参考書</b>	相原茂ほか『日中いぶこみ交差点—エッセンシャル版』(朝日出版社、2019)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	国分 壮一	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	月曜日 19:15～

**【授業概要・目標】**

人体の構造と機能について理解できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅰ
2	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅱ
3	体幹の筋Ⅰ
4	体幹の筋Ⅱ
5	体幹の運動
6	上肢の筋Ⅰ
7	上肢の筋Ⅱ
8	上肢の運動
9	体幹の脈管と神経
10	下肢の筋Ⅰ
11	下肢の筋Ⅱ
12	下肢の運動
13	頭頸部の筋Ⅰ
14	頭頸部の筋Ⅱ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論Ⅰ
2	神経系総論Ⅱ
3	中枢神経系Ⅰ
4	中枢神経系Ⅱ・伝導路
5	末梢神経Ⅰ
6	末梢神経Ⅱ
7	体幹の神経
8	上肢の神経
9	下肢の神経
10	頭頸部の神経
11	感覚神経Ⅰ
12	感覚神経Ⅱ
13	感覚神経Ⅲ
14	予備日
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席・定期試験・ミニテストにより評価する。
<b>授業の進め方</b>	授業前に配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習は必要ないが、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。 また復習が望ましい。
<b>テキスト・参考書</b>	指定された教科書を用いる。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	今野 弘務	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 17:40～

<b>【授業概要・目標】</b> 1、東洋医学の基礎となる陰陽、五行、気血津液、蔵象などの知識の習得。 2、2学年、3学年で臨床、実技に必要な東洋医学の基盤をつくる。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	人体の見方(p13～17)
3	東洋医学的治療 日本の東洋医学の現状(p18～36)
4	陰陽学説①(p181～187)
5	陰陽学説②(p181～187)
6	五行学説①(p188～200)
7	五行学説②(p188～200)
8	陰陽五行学説まとめ
9	気の生理・病理①(p37～50)
10	気の生理・病理②(p37～50)
11	血の生理・病理(p50～53)
12	津液の生理・病理(p54～58)
13	生体物質の相互関係(p58～62)
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期復習
2	神の生理・病理①(p63～68)
3	神の生理・病理②(p63～68)
4	人体における陰陽(p68～73)
5	蔵象(p74～77)
6	蔵象(肝)(p77～87)
7	蔵象(肝・心)
8	蔵象(心)(p87～97)
9	蔵象(脾)(p97～106)
10	蔵象(脾・肺)
11	蔵象(肺)(p106～115)
12	蔵象(腎)(p115～125)
13	蔵象(腎・三焦)(p125～127)
14	前期・後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	評価は前期・後期試験の点数を基本とし、それに小テスト、平常点を加味して評価する。
<b>授業の進め方</b>	授業の進め方は、基本的に教科書通りとする。 ※授業2回目から13回目において、五臓・六腑各々の病証は2学年で行うものとする。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	東洋医学は、馴染みのない理論、哲学のため、それを「信じる」「信じない」に関わらず、まずはその内容を理解するよう努めてほしい。
<b>テキスト・参考書</b>	東洋医学概論

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	古川 雄一郎	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	生理学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 19:15～

### 【授業概要・目標】

生命現象がどのように行われるか内分泌、神経、免疫によって説明することが出来るようになる

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	生理学概論
2	神経Ⅰ
3	神経Ⅱ
4	神経Ⅲ
5	神経Ⅳ
6	神経Ⅴ
7	内臓の自律神経性調節Ⅰ
8	内臓の自律神経性調節Ⅱ
9	内臓の自律神経性調節Ⅲ
10	内臓の自律神経性調節Ⅳ
11	内臓の自律神経性調節Ⅴ
12	内分泌Ⅰ
13	内分泌Ⅱ
14	内分泌Ⅲ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	生殖
2	成長と老化
3	筋Ⅰ
4	筋Ⅱ
5	運動Ⅰ
6	運動Ⅱ
7	運動Ⅲ
8	感覚Ⅰ
9	感覚Ⅱ
10	感覚Ⅲ
11	生体の防御機構Ⅰ
12	生体の防御機構Ⅱ
13	身体活動の協調
14	まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
<b>授業の進め方</b>	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
<b>テキスト・参考書</b>	生理学第3版 東洋療法学校協会編

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	渡邊 慶子	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	自然科学概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 17:40～

<b>【授業概要・目標】</b>	
1、ヒトの生物学的な特徴を理解する。	
2、ヒトの体を生化学と分子から理解する。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ヒトとは？① 直立二足歩行する動物、人類の出現と進化
2	ヒトとは？② ホモ・サピエンスの誕生と拡散
3	細胞の構造と生命誕生① 細胞の構造と機能
4	細胞の構造と生命誕生② 細胞の構造と機能、生物の誕生と多様性
5	生命体を構成する物質① 生体をつくる高分子、タンパク質、糖質
6	生命体を構成する物質② 脂質、核酸、ビタミンとミネラル
7	生体とエネルギー① 酵素、ATP
8	生体とエネルギー② 糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝
9	遺伝子の構造と機能① DNAの構造、DNAの複製
10	遺伝子の構造と機能② 遺伝子の転写と制御、遺伝子の翻訳
11	遺伝子の構造と機能③ DNAの変異による病気、遺伝病、体質
12	細胞の分裂・情報伝達・がん化 細胞分裂、細胞間の情報交換、がん化
13	多細胞生物の自己維持機構 生体防御機構(自然免疫、獲得免疫)
14	総復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<b>評価方法</b>	試験
<b>授業の進め方</b>	教科書、スライドで教科書の内容を補足する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	丸暗記するのではなく理解すること。わからないことは積極的に質問する。 配布したプリントは紛失しないようファイルする。
<b>テキスト・参考書</b>	やさしい基礎生物学 第2版 羊土社

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	今野 弘務	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論Ⅱ(半期)	<b>曜日・時間</b>	後期) 水曜日 17:40～

**【授業概要・目標】**

要穴の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	要穴(五俞穴)
3	要穴(五俞穴)
4	要穴(五要穴)
5	要穴(五要穴)
6	要穴(四総穴・八会穴・八総穴・下合穴)
7	十二経脈の走行と接続部 一定の高さに並ぶ経穴 十二経脈の走行と接続部 一定の高さに並ぶ経穴
8	各部位の経穴
9	各部位の経穴
10	奇穴
11	奇経八脈
12	『難経』六十九難
13	経絡・経穴の略記
14	まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	評価は後期試験の点数を基本とし、それに小テスト、平常点を加味して評価する。
<b>授業の進め方</b>	授業は基本的に教科書の内容を進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	経穴は暗記がとても重要なため、自主学習を積極的に行って欲しい。
<b>テキスト・参考書</b>	経絡経穴概論

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	佐々木 和代	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論 I	<b>曜日・時間</b>	水曜日 19:15～

**【授業概要・目標】**  
 経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、骨度等を総合的に学習する。経穴361穴暗唱。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション(授業・試験について)経絡経穴の基礎
2	"
3	流注と経穴名(肺経・大腸経)
4	流注と経穴名(胃経・脾経)
5	流注と経穴名(心経・小腸経)
6	流注と経穴名(膀胱経)
7	流注と経穴名(腎経・心包経)
8	流注と経穴名(三焦経・胆経)
9	流注と経穴名(肝経・督脈・任脈)
10	奇経八脈とその流注
11	骨度法
12	"
13	復習
14	前期試験の注意事項
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期授業の進め方 背部の経穴名と取穴部位(筋枝)
2	胸部の経穴名と取穴部位(筋枝)
3	上腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
4	下腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
5	肩部・頸部・上腕の経穴名と取穴部位(筋枝)
6	前腕部・手部の経穴名と取穴部位(筋枝)
7	中間テスト
8	復習1
9	下腿部の経穴名と取穴部位(筋枝)
10	大腿部・足部の経穴名と取穴部位(筋枝)
11	顔面部の経穴名と取穴部位(筋枝)
12	頭部の経穴名と取穴部位(筋枝)
13	復習2
14	後期試験の注意事項
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席および試験(定期試験・確認小テスト・経穴暗唱)の結果を総合的に評価する。
<b>授業の進め方</b>	教科書『経絡・経穴概論』を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	毎回経穴小テスト(経穴暗唱を含む)を行う。
<b>テキスト・参考書</b>	『経絡・経穴概論』医道の日本社

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 務	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 17:40～

<b>【授業概要・目標】</b> 解剖学用語を覚えると同時に、人体各部の位置や役割を理解する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 運動器系(総論)①
2	運動器系(総論)② 全身の骨格について
3	Ⅱ-1. 脊柱①
4	Ⅱ-1. 脊柱②
5	Ⅱ-1. 脊柱③
6	Ⅱ-2. 胸郭①
7	Ⅱ-2. 胸郭②
8	Ⅱ-3. 上肢の骨格①
9	Ⅱ-3. 上肢の骨格②
10	Ⅱ-3. 上肢の骨格③
11	Ⅱ-3. 上肢の骨格④
12	Ⅱ-3. 上肢の骨格⑤
13	Ⅱ-4. 下肢の骨格①
14	Ⅱ-4. 下肢の骨格②
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	Ⅱ-4. 下肢の骨格③
2	Ⅱ-4. 下肢の骨格④
3	Ⅱ-4. 下肢の骨格⑤
4	Ⅱ-4. 下肢の骨格⑥
5	Ⅱ-5. 頭蓋骨①
6	Ⅱ-5. 頭蓋骨②
7	Ⅱ-5. 頭蓋骨③
8	Ⅱ-5. 頭蓋骨④
9	Ⅱ-5. 頭蓋骨⑤
10	Ⅱ-5. 頭蓋骨⑥
11	局所解剖①
12	局所解剖②
13	復習(不足分を含む)
14	復習(不足分を含む)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験、小テスト、出席(授業態度も含む)などの総合評価
<b>授業の進め方</b>	教科書とプリントを中心に授業を行い、小テストで理解を深める様に進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	教科書・図だけではなく、人体で理解できるようにする。
<b>テキスト・参考書</b>	「解剖学 第2版」(医歯薬出版株式会社)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	古川 雄一郎	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	衛生学・公衆衛生学	<b>曜日・時間</b>	木曜日 19:15～

<b>【授業概要・目標】</b> 人間の生存に影響を及ぼす様々な環境要因をふまえ、健康の保持、増進に関する理解を深める。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	衛生学・公衆衛生学の意義
2	健康①
3	健康②
4	ライフスタイルと健康①
5	ライフスタイルと健康②
6	環境と健康①
7	環境と健康②
8	環境と健康③
9	産業保健①
10	産業保健②
11	精神保健①
12	精神保健②
13	精神保健③
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	母子保健①
2	母子保健②
3	成人・高齢者保健①
4	成人・高齢者保健②
5	成人・高齢者保健③
6	感染症①
7	感染症②
8	消毒法①
9	消毒法②
10	疫学①
11	疫学②
12	保健統計①
13	保健統計②
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
<b>授業の進め方</b>	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
<b>テキスト・参考書</b>	衛生学・公衆衛生学 第2版 医歯薬出版株式会社

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	生理学 I	<b>曜日・時間</b>	金曜日 17:40～

### 【授業概要・目標】

人体の生理機能について学習し、その意義と調節機構を理解する。  
生理学の基本知識を習得し、他の教科や2年次以降の学習の基礎を固めることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章:生理学の基礎
2	第1章:生理学の基礎
3	第1章:生理学の基礎
4	第2章:循環
5	第2章:循環
6	第2章:循環
7	第2章:循環
8	第2章:循環
9	第2章:循環
10	第2章:循環
11	第3章:呼吸
12	第3章:呼吸
13	第3章:呼吸
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4章:消化と吸収
2	第4章:消化と吸収
3	第4章:消化と吸収
4	第4章:消化と吸収
5	第4章:消化と吸収
6	第5章:代謝
7	第5章:代謝
8	第5章:代謝
9	第6章:体温
10	第6章:体温
11	第7章:排泄
12	第7章:排泄
13	第7章:排泄
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の結果を元に行う。
<b>授業の進め方</b>	教科書を元に、適宜板書・プリント配布を行いながら授業を進める。 また、一部課題を出して理解を深める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習・復習を行い、授業外でも理解を深めるよう努力してほしい。
<b>テキスト・参考書</b>	「生理学 第3版」医歯薬出版株式会社

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	鍼灸基礎実技 I	<b>曜日・時間</b>	金曜日 19:15～

### 【授業概要・目標】

- (1) 施術上必要な基礎知識を理解し、実践できるようになる。  
 (2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	講義: 注意事項 実技: 鍼の基本実技(1)
3	講義: 消毒法 実技: 灸の基本実技(1)
4	講義: 基礎知識 実技: 鍼の基本実技(2)
5	講義: 基礎知識 実技: 灸の基本実技(2)
6	鍼の基本実技(3)
7	灸の基本実技(3)
8	鍼の基本実技(4)
9	灸の基本実技(4)
10	前期中間実技試験
11	鍼の基本実技(5)
12	灸の基本実技(5)
13	前期実技試験 (はり試験)
14	前期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼の基本実技(7)
3	灸の基本実技(7)
4	鍼の基本実技(8)
5	灸の基本実技(8)
6	鍼の基本実技(9)
7	灸の基本実技(9)
8	鍼の基本実技(10)
9	灸の基本実技(10)
10	後期中間試験
11	鍼の基本実技(11)
12	灸の基本実技(11)
13	後期実技試験 (はり試験)
14	後期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	前期: 実技試験による、後期: 実技試験による その他: 出席状況、授業態度なども考慮する
<b>授業の進め方</b>	教科書・シラバスに基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1) 毎日、コツコツ練習をしてください。 (2) 態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト: 『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	神成 有己	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	土曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**  
 東洋医学とは何か、そしてその歴史を知ってもらい、東洋医学について興味関心を持ってもらう。  
 また取穴位置をしっかりと覚えてもらい、実技に役立ててもらおう。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学とは
2	東洋の医学①
3	東洋の医学②
4	東洋の医学③
5	東洋の医学④
6	中間テスト(予定)
7	中国医学史①
8	中国医学史②
9	中国医学史③
10	中国医学史④
11	中国医学史⑤、日本医学史序
12	日本医学史②
13	日本医学史③
14	前期の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期ガイダンス,日本医学史④
2	日本医学史⑤
3	日本医学史⑥
4	日本医学史⑦
5	日本医学史⑧
6	中間テスト(予定)
7	テスト解説,古典医学文献序
8	古典医学文献①
9	古典医学文献②
10	古典医学文献③
11	古典医学文献④
12	古典医学文献⑤
13	古典医学文献⑥
14	古典医学文献の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	中間+期末/2したものを点数とするが、授業態度、出席点も考慮する。
<b>授業の進め方</b>	基本はプリントを配布。パワーポイント及び板書にて進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	体調管理は常に行い、休んだ場合はきちんとクラスメイトに確認を取ること。
<b>テキスト・参考書</b>	適宜授業内で紹介する。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	岡本 栄子	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	手技療法 I	<b>曜日・時間</b>	土曜日 14:50～

### 【授業概要・目標】

教科書を基礎にして基本手技を身につけ、反復練習することにより、全身施術ができることをめざします。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あんま 基本手技
2	基本手技
3	肩背部
4	背腰部～頸部
5	上肢部
6	肩背腰部(伏臥位)
7	腰部 頸肩背腰部
8	下肢部
9	頭部 胸腹部
10	全身施術(P126～129)
11	全身施術(P126～130)
12	全身施術(P126～131)
13	全身施術(P126～132) 実技テスト
14	全身施術(P126～133) ペーパーテスト
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	マッサージ 歴史・相違点・基本手技
2	基本手技
3	前腕→上腕
4	下肢部 足趾→下腿→大腿
5	背腰部 臀部
6	背腰部 頸部
7	胸部
8	腹部
9	顔面
10	関節のマッサージ
11	マッサージで全身施術
12	マッサージで全身施術
13	マッサージで全身施術 実技テスト
14	マッサージで全身施術 ペーパーテスト
15	評価点検

<b>評価方法</b>	基本手技がきちんとできるかどうか 手技で筋肉を正しくとらえているかどうかを見ます
<b>授業の進め方</b>	教科書を中心にして技術の向上をめざします
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	自己流に傾らず、基本手技を正しく身につける
<b>テキスト・参考書</b>	『あんまマッサージ指圧実技(基礎部)』(医道の日本社)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	宍戸 新一郎	<b>学科・年</b>	鍼灸科第二部 1年
<b>科目名</b>	解剖学 I	<b>曜日・時間</b>	土曜日 16:30～

**【授業概要・目標】**  
 施術者として必要な人体諸器官の位置・形態・構造について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	人体の構成総論
2	運動の表し方/器官系総論
3	人体の構成-1
4	人体の構成-2
5	人体の構成-3
6	循環器系-1
7	循環器系-2
8	循環器系-3
9	循環器系-4
10	循環器系-5
11	呼吸器系-1
12	呼吸器系-2
13	前期総まとめ
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	消化器系-1
2	消化器系-2
3	消化器系-3
4	消化器系-4
5	消化器系-5
6	泌尿器系-1
7	泌尿器系-2
8	生殖器系-1
9	生殖器系-2
10	生殖器系-3
11	内分泌系-1
12	内分泌系-2
13	内分泌系-3
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	前期:筆記試験による 後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
<b>授業の進め方</b>	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	2年次・3年次の教科の基礎になる科目なので、予習復習を怠らないこと
<b>テキスト・参考書</b>	『解剖学』第二版 医歯薬出版株式会社

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	臨床実習	曜日・時間	—・—

【授業概要・目標】

①患者への接遇ができる。②基本的な施術準備ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（鍼灸科第二部）

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
鍼灸基礎実技Ⅰ	1年次	60	古川雄一郎	5年以上	鍼灸院での勤務経験をもち、現在も付 属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なってい る。
病理学概論	2年次	60	伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も 付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なってい る。
臨床医学各論Ⅱ	3年次	60	国分俊繁	10年以上	鍼灸接骨院での勤務経験をもち、現在 も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっ ている。
鍼灸理論Ⅰ	3年次	60	古川雄一郎	5年以上	鍼灸院での勤務経験をもち、現在も付 属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なってい る。
東洋医学応用概論	3年次	60	古川雄一郎	5年以上	鍼灸院での勤務経験をもち、現在も付 属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なってい る。
	合計時間数	300			